

幸若舞曲

THE PAINTINGS OF
KOWAKA DANCE:
PRESENTING THE HEROES OF
THE SAMURAI

合戦、色恋、敵討ち
今も昔も、
人はドラマが
大好きだ。



《曾我物語図屏風》(部分) 渡辺美術館蔵

2019 3/2 SAT ▶ 5/12 SUN

[開館時間] 10:00~17:00 (入館は16:30まで) ※会期中、展示替えがあります

[休館日] 月曜日 (ただし祝日の4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)

[入館料] 一般1,000円 / 高・大学生500円 / 中学生以下無料

※障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。※20名以上の団体は各200円引き。

[タクシー来館特典] タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館無料

※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

[主催] 海の見える杜美術館 [後援] 広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

と 絵画

春期特別展

武将が愛した
ヒーロー
英雄たち



幸若舞曲と絵巻

幸若舞曲とは、室町時代から江戸時代にかけて流行した芸能の名称です。源平合戦に取材した物語や、源義経を主人公とした義経物、曾我兄弟の仇討ちの顛末を伝える曾我物など、武士の活躍を題材にした演目が多く、戦国武将たちに愛された芸能のひとつでした。桶狭間の戦いを前にした織田信長が、幸若舞曲「敦盛」の一節を舞ったエピソードはことに有名です。江戸時代初期、17世紀には、この幸若舞曲を主題とする絵巻や絵本、屏風などを、大名をはじめとする人々が熱心に求めたようであり、金や鮮やかな色彩で彩られた豪華な作例が多数残されています。本展覧会は、当館所蔵の《舞の本絵本》(全47冊)を軸に桃山時代から江戸時代の作例を展示し、幸若舞曲を主題とする絵巻をまとめてご紹介する初の試みです。武将たちが愛した贅沢で華やかな物語絵の世界をお楽しみください。



THE PAINTINGS OF KOWAKA DANCE: PRESENTING THE HEROES OF THE SAMURAI



- 1.《夜討曾我絵巻》
江戸時代 海の見える杜美術館蔵
- 2.《舞の本絵本》のうち「堀川夜討」
江戸時代 海の見える杜美術館蔵
- 3.《銀地烏帽子折物語絵巻屏風》
桃山時代 手銭記念館蔵
- 4.《曾我物語図屏風》
桃山時代 渡辺美術館蔵
(撮影者:吉岡由哲)



イベント情報

公開シンポジウム

「『舞の本』と華麗なる江戸絵巻・絵本の世界」

幸若舞曲がいかに描かれ、享受されたのか。本展覧会の監修者、小林健二氏(国文学研究資料館・副館長)をメインスピーカーに、国文学と美術史の研究者が江戸時代初期、17世紀に花開いた新しい絵巻・絵本の世界をひもときます。
※詳細は美術館ホームページをご確認ください。

[日時] 4月13日(土) 13:30~17:00 [会場] 海の見える杜美術館 別館講堂 [定員] 100名(先着順、要事前申込) [参加費] 無料

【申し込み方法】「幸若展シンポジウム参加希望」とご記入の上、①参加人数、②参加希望者全員の氏名、③代表者の住所、④代表者の電話番号を明記し、Eメールまたは往復はがき(いずれも1通につき2名様まで)で、4月5日(金)までにお申し込みください。往復はがきをお使いの場合は、返信はがきの宛先に代表者の住所氏名をご記入ください。当館より折り返しご連絡いたします。なお、定員に達しだい締め切りとさせていただきます。

◎メールアドレス: info@umam.jp

◎はがき宛先: 〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701

海の見える杜美術館 幸若展シンポジウム事務局宛

当館学芸員による スライドレクチャー

5月3日(金・祝) 13:30~14:30
[会場] 海の見える杜美術館 展示室
[参加費] 無料 (ただし、入館料が必要です)
[定員] 20名
◎事前申し込み不要

当館学芸員による ギャラリートーク

3月23日(土)、4月20日(土)、5月4日(土・祝)
13:30~(30分程度)
[会場] 海の見える杜美術館 展示室
[参加費] 無料 (ただし、入館料が必要です)
◎事前申し込み不要

同時開催

香水瓶展示室

海の見える杜美術館が長年にわたり収集および調査をしてまいりました、香水瓶コレクションより厳選した香水瓶を、いつでもご覧いただけます。



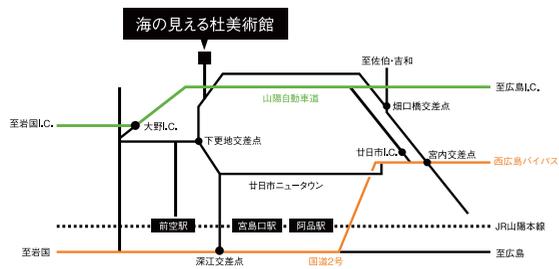
《セント・ボトル》
イギリス チェルシー
1755年頃

竹内栖鳳展示室 「竹内栖鳳と文芸」

栖鳳は自身で俳句を作るなど、絵画ばかりでなく文芸の世界にも通じていました。今回は、上鳥鬼貫の句に着想を得て描いた名品《観花》や、絵とともに句を書き入れた作品などを展示し、栖鳳芸術と文芸の関わりをご紹介します。



《観花》1898年(明治31)



■アクセス情報

山陽本線「宮島口駅」または
広島電鉄「広電宮島口駅」からタクシーで約10分
山陽自動車道「大野I.C.」から車で約10分

■タクシー来館特典

タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館料無料。
※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

■お問い合わせ

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701 Tel: 0829-56-3221 E-mail: info@umam.jp <http://www.umam.jp>

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture